

DERWENT- 1993-317200

ACC-NO:

DERWENT- 199340

WEEK:

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pneumatic tyre with good antiskid performance - in which stiffening ring is embedded in base block made of steel wire, etc.

PATENT-ASSIGNEE: EGAWA M [EGAWI]

PRIORITY-DATA: 1992JP-0072228 (February 24, 1992)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 05229302 A	September 7, 1993	N/A	003	B60C 003/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 05229302A	N/A	1992JP-0072228	February 24, 1992

INT-CL (IPC): B60C003/00, B60C011/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 05229302A

BASIC-ABSTRACT:

Tyre has a circumferential groove at the central region of the tread which has a depth of 30-80mm and a width of 20-60mm and which is provided with a thick-walled base block along the bottom to keep the groove from flattening under the internal air pressure. A stiffening ring is embedded in the base block which is made of a steel wire, reinforced synthetic rubber or reinforced plastics.

ADVANTAGE - Tyre has a satisfactory anti-skid performance comparable to a double tyre

CHOSEN- Dwg. 0/2

DRAWING:

TITLE-TERMS: PNEUMATIC TYRE ANTISKID PERFORMANCE STIFFEN RING EMBED
BASE BLOCK MADE STEEL WIRE

DERWENT-CLASS: A95 Q11

CPI-CODES: A12-T01B;

UNLINKED-DERWENT- ; 5333U
REGISTRY-NUMBERS:

ENHANCED-POLYMER- Polymer Index [1.1] 017 ; H0124*R
INDEXING:

Polymer Index [1.2] 017 ; ND01 ; K9416 ; B9999
B5367 B5276 ; Q9999 Q9256*R Q9212

Polymer Index [1.3] 017 ; G3189 D00 Fe 8B Tr ;
A999 A419 ; S9999 S1672

Polymer Index [2.1] 017 ; H0124*R ; S9999
S1672

Polymer Index [2.2] 017 ; K9892

Polymer Index [2.3] 017 ; A999 A419

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0009

0011

0105

0108

0111

0114

0117

0120

0123

0126

0129

0231

2211

2220

2658

2825

2826

3258

Multipunch Codes: 017

032

04-

07-

09&

09-

10&

10-

15-

17&

17-

18&

18-

19&

275

308

41&

50&

597

599

651

654

672

017

032

275

308

654

672

723

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1993-140867

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1993-244605

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-229302

(43)公開日 平成5年(1993)9月7日

(51)Int.Cl.⁵

B 60 C
11/00

識別記号

庁内整理番号
B 8408-3D
F 8408-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 2(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平4-72228

(22)出願日

平成4年(1992)2月24日

(71)出願人 592065852

江川 三男

東京都足立区西新井 6 丁目46番11号

(72)発明者 江川 三男

東京都足立区西新井 6 丁目46番11号

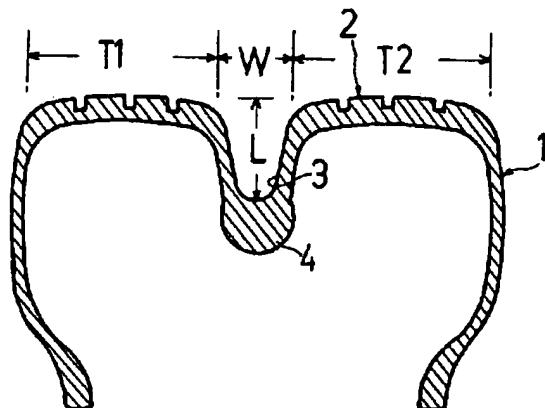
(74)代理人 弁理士 池田 和司

(54)【発明の名称】 タイヤ

(57)【要約】

【目的】 タイヤのトレッド部の中央部に形成した溝部の溝深さや溝幅を、ダブルタイヤの特性を引き出せるような溝深さや溝幅に形成できるようとする。

【構成】 トレッド部2の中央部にタイヤ円周方向に沿って溝深さを30mmないし80mmで溝幅を20mmないし60mmとした溝部3を形成し、この溝部の股状基部に空気圧による溝部形状の拡開変形を防ぐように肉厚の厚い基塊部4を形成してある。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 タイヤのトレッド部の中央部にタイヤ円周方向に沿って溝深さを30mmないし80mmで溝幅を20mmないし60mmとした溝部を形成してなり、該溝部の股状基部に空気圧による溝部形状の拡開変形を防ぐように肉厚の厚い基塊部を形成したことを特徴とするタイヤ。

【請求項2】 前記基塊部の中心部に沿って、スチールワイヤー、強化合成ゴム、強化プラスチックなどの環状補強部材を埋設したことを特徴とする請求項1記載のタイヤ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、一本のタイヤでダブルタイヤと同様な滑り止め性能をもつタイヤに関する。

【0002】

【従来の技術】 ダブルタイヤが濡れた路面に対して優れた滑り止め性能をもつことが知られている。一本のタイヤで滑り止め性能に優れたダブルタイヤの特性を利用したものとして、タイヤのトレッド部の中央部にタイヤ円周方向に沿った溝部を形成したものが提案されている。

【0003】 この溝部の溝深さや溝幅は、ダブルタイヤの特性を利用することから、トレッド部に形成された他の溝形状に比べてもはるかに深くかつ広いものであり、できれば溝深さを30mm以上に、溝幅も20mm以上とすることがダブルタイヤの特性を引き出すために望ましいものとされている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 このダブルタイヤの特性を利用すべく従来提案された溝部は、この溝形状がタイヤの空気圧によって特に溝幅が拡開変形して所期の溝形状を保持できないことから、その溝部の溝深さや溝幅を、ダブルタイヤの特性を引き出せるような深さや幅に形成することが難しいという問題点があった。

【0005】 本発明は、このような実情に鑑み、前記溝部の溝深さや溝幅を、ダブルタイヤの特性を引き出せるような深さや幅、すなわち、溝深さを30mmないし80mm、溝幅を20mmないし60mmに形成しても、この溝形状がタイヤの空気圧によって特に溝幅が拡開変形することなく所期の溝形状を保持できるようにしたダブルタイヤの特性をもつタイヤを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため本発明のタイヤは、タイヤのトレッド部の中央部にタイヤ円周方向に沿って溝深さを30mmないし80mmで溝幅を20mmないし60mmとした溝部を形成してな

り、該溝部の股状基部に空気圧による溝部形状の拡開変形を防ぐように肉厚の厚い基塊部を形成したことを特徴としている。

【0007】 さらに本発明のタイヤは、前記基塊部の中心部に沿って、スチールワイヤー、強化合成ゴム、強化プラスチックなどの環状補強部材を埋設したことを特徴としている。

【0008】

【実施例】 図1は、本発明のタイヤの一実施例を示す断面図であり、符号3はタイヤ1のトレッド部2の中央部にタイヤ円周方向に沿って形成した溝深さを30mmないし80mmで溝幅Wを20mmないし60mmとした溝部であり、この溝部3の股状基部に空気圧による溝部3形状の拡開変形を防ぐように肉厚の厚い基塊部4を形成してある。この基塊部4は断面略円形状に形成してあるが、これに限定されず断面略矩形状などに形成してもよいものとする。またこの基塊部4は20mmないし40mm程度の肉厚に形成してある。この溝部3によってトレッド部2は左右トレッドT1、T2に分けられるが、この左右トレッドT1、T2はそれぞれ50mmないし100mmの幅に形成してある。

【0009】 図2は、本発明のタイヤの他の実施例を示す断面図であり、前記基塊部4の中心部に沿ってスチールワイヤー、強化合成ゴム、強化プラスチックなどの環状補強部材5を埋設したもので、その他の構成は図1と同様である。

【0010】

【発明の効果】 本発明のタイヤは以上説明したように構成してあるため、タイヤのトレッド部の中央部に形成した溝部の溝深さや溝幅を、ダブルタイヤの特性を引き出せるような深さや幅、すなわち、溝深さを30mmないし80mm、溝幅を20mmないし60mmに形成しても、この溝形状がタイヤの空気圧によって特に溝幅が拡開変形することなく所期の溝形状を保持でき、よって一本のタイヤでダブルタイヤと同様な優れた滑り止め性能をもつタイヤを提供できる。

【図面の簡単な説明】

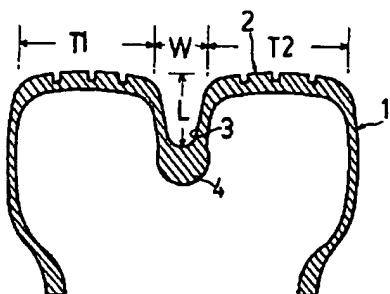
【図1】 本発明のタイヤの一実施例を示す断面図である。

【図2】 本発明のタイヤの他の実施例を示す断面図である。

【符号の説明】

- 1 タイヤ
- 2 トレッド部
- 3 溝部
- 4 基塊部
- 5 環状補強部材

【図1】



【図2】

